

岡山県立岡山操山高等学校通信制課程基本情報（令和7年5月1日現在）

1 学科の組織及び収容定員、並びに通信教育連携協力施設ごとの定員に関すること

実施校	通信教育連携協力施設
県立岡山操山高等学校 通信制課程・普通科 収容定員 2,000 名	県立岡山御津高等学校（定員 80 名） ※使用する生徒は、フレックス制に係る入学者 選抜を経て、岡山御津高校に入学した生徒に 限る。 県立倉敷青陵高等学校（定員 40 名） 県立津山高等学校（定員 40 名）

2 通信教育を行う区域に関すること

(1) 実施の区域

岡山県立高等学校通信教育規則第三条の規定により、県立岡山操山高等学校は、次の各号の一に該当する者に対して通信教育を行うものとする。

- | |
|--|
| 一 岡山県内に住所を有する者
二 岡山県に近接する県内に住所を有する者で勤務地が岡山県内にあるもの
三 その他特別な理由がある者で実施校の校長が適当と認めるもの |
|--|

(2) 出願

志願者は、岡山県立中学校、高等学校及び中等教育学校の通学区域に関する規則（以下、「通学区域に関する規則」）第四条第三項又は第六条の三の規定により出願しなければならない。

出願については、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

- | |
|--|
| ア 保護者の現住所が岡山県内にある者
イ 岡山県内に現住所を有する者
ウ 勤務地が岡山県内にある者
エ その他やむを得ない理由があると認められる者 |
|--|

(3) 通学

入学後、通学区域に関する規則第四条第四項又は第六条の三第二項の規定により、通学することができる。

通学については、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

- | |
|--|
| (1) 上記(2)ア～エのいずれかにより入学を許可された者
(2) その他やむを得ない理由があると認められる者 |
|--|

3 通信教育連携協力施設ごとの名称及び位置に関すること

県立	県立	県立	県立
岡山操山高等学校	岡山御津高等学校	倉敷青陵高等学校	津山高等学校
岡山市中区浜 412	岡山市北区御津金川 940	倉敷市羽島 1046-2	津山市椿高下 62

4 教員及び職員の数その他教職員組織に関すること

県立 岡山操山高等学校	県立 岡山御津高等学校	県立 倉敷青陵高等学校	県立 津山高等学校
校長 1 名 教頭 1 名 常勤教員 20 名 非常勤講師 6 名 事務職員 4 名 SC・SSW 各 1 名	常勤教員 11 名	常勤教員 6 名	常勤教員 6 名

5 入学、退学、転学、休学及び卒業に関すること（令和 6 年度の状況）

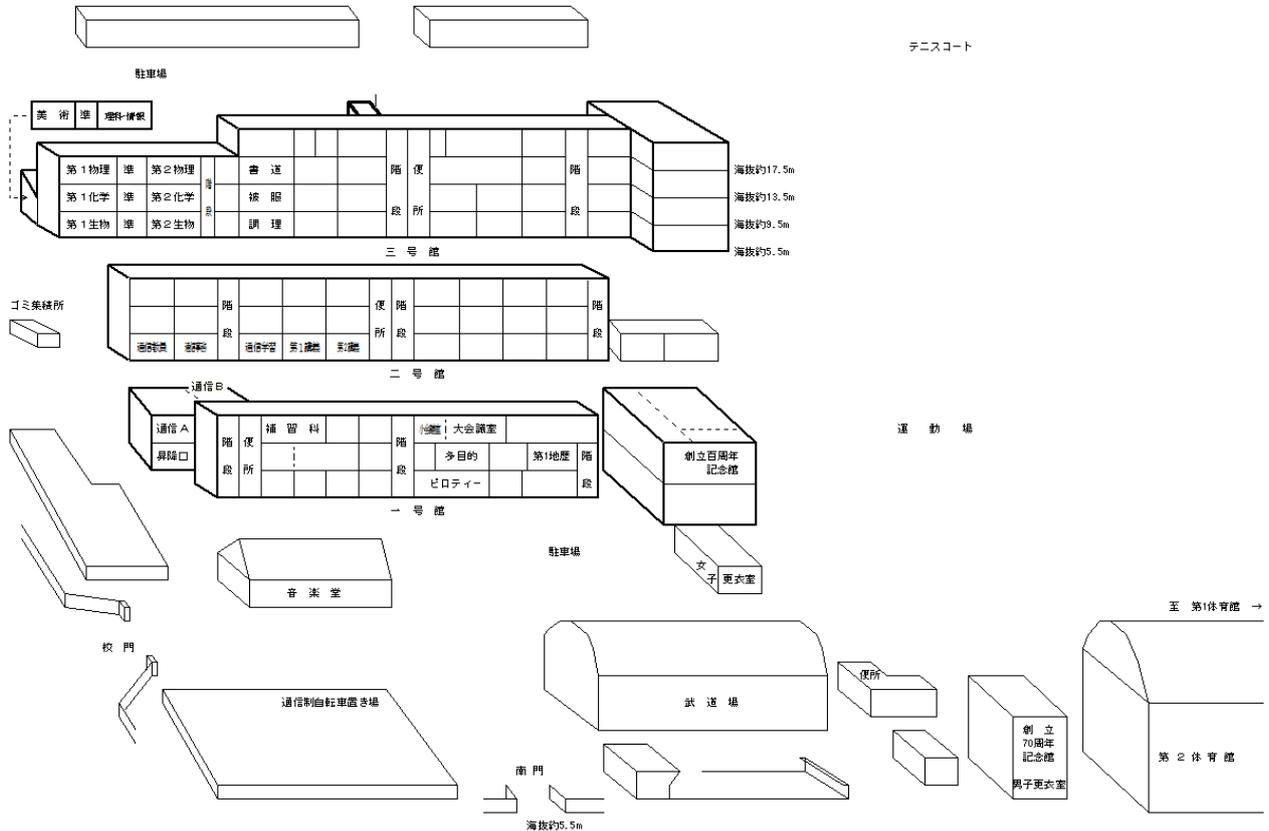
入学者の数	前期 173 名 後期 54 名 計 227 名
在籍する生徒の数	1,115 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）
退学・転学の数	29 名
卒業した者の数	前期 17 名 後期 98 名 計 115 名
進学・就職等の状況	進学 50 名 現在の職業を継続 10 名 新規就職 5 名 未定・その他 50 名

6 通信教育実施計画（通信教育規程第四条の三に規定する通信教育実施計画をいう）に関すること
別資料をご確認ください

7 校地、校舎等の施設及び設備その他の生徒の教育環境に関すること

通信制で使用する主な教室・施設等を表示しています。

本校は併設型中高一貫教育校の高校全日制と中学校が同じ敷地内にあります。



8 授業料、入学料その他の費用徴収に関すること

《参考：前期に新入学した人が学習する科目の例とその場合の必要経費。令和7年度分》

教科	科目	単位数	受講料(年)	学習諸費(年)	その他の諸経費
国語	現代の国語	2	1 単位あたり 330 円	1 単位あたり 120 円	入学金 500 円 生徒会費(年) 1,500 円 教育振興費(年) 2,000 円 教科書・学習書 約 20,000 円 補助教材 約 10,000 円 その他 約 5,000 円 ※就学支援金制度等、受講料の負担が軽減される制度があります。
	言語文化	2			
地理歴史	地理総合	2			
	歴史総合	2			
公民	公共	2			
数学	数学 I	3			
理科	化学基礎	2			
	保健体育	2			
	保健	2			
外国語	英語コミュニケーション I	3			
情報	情報 I	2			
	合計	24	7,920 円	2,880 円	

9 生徒の学習活動、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

生徒の学習活動：

- ・ 自学自習・自己管理が基本です。機関紙『操山通信』等配付物で必要な情報を提供します。
- ・ ホームページでの連絡、Google アカウントを利用した学習支援があります。
- ・ 分からないことなどは年次担任・科目担任に適宜質問することができます。

進路選択の支援：

- ・ 年次担任が進路面談を行います。
- ・ 『進路の手引』や「進路ニュース」などの進路情報を提供しています。
- ・ 外部機関（サポステ等）との連携もしています。

心身の健康等に係る支援：

- ・ 教育相談室の先生や担任の先生に相談ができます。
- ・ スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）が定期来校します。